

個人投資家向け説明会

2025年5月17日

株式会社FRONTEO

証券コード：2158



01	会社概要	3
02	事業内容	12
03	ステージ4（中期計画） FY28のイメージ	20
04	2025年3月期 決算ハイライト	23
05	2026年3月期業績予想	25

- 01 会社概要
- 02 事業内容
- 03 ステージ4（中期計画） FY28のイメージ
- 04 2025年3月期 決算ハイライト
- 05 2026年3月期業績予想

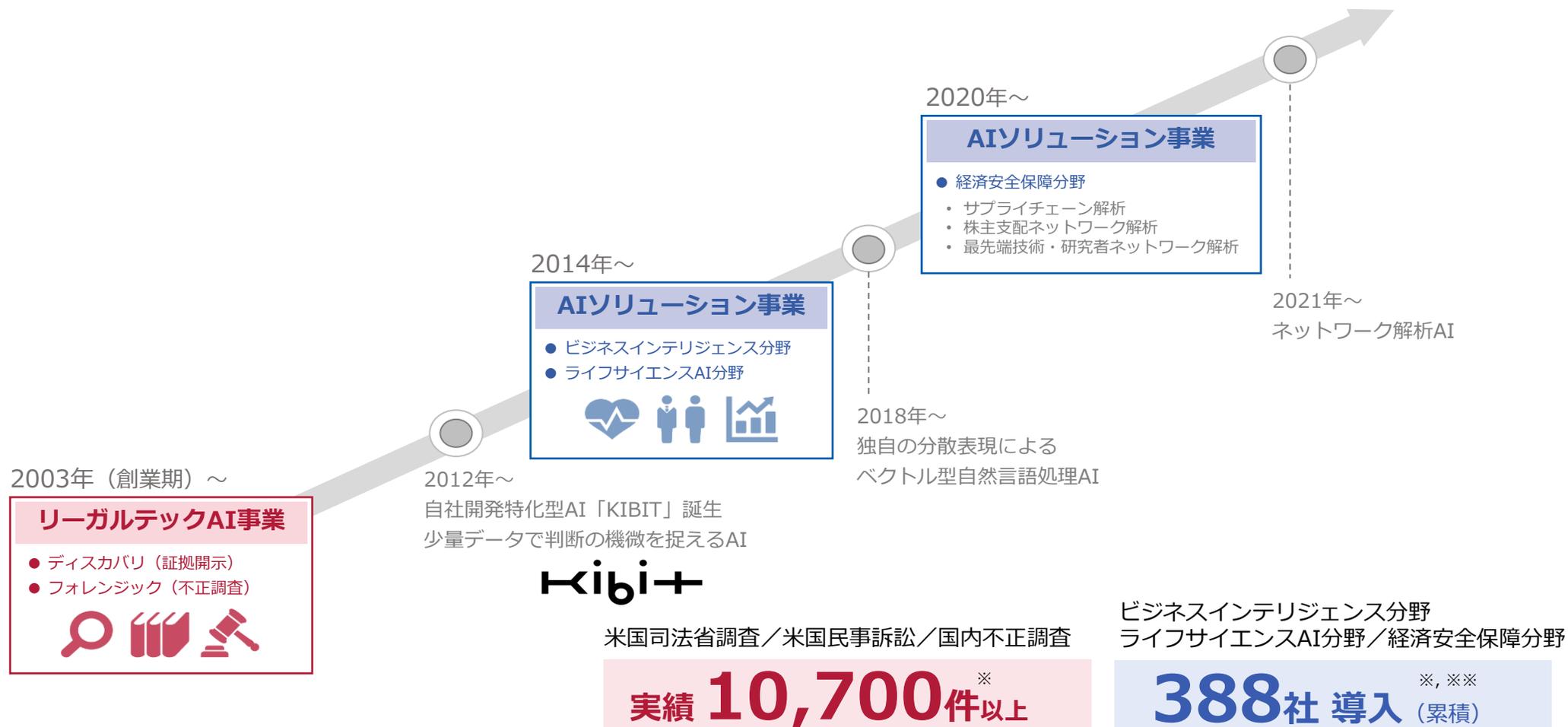
会社名：	株式会社FRONTEO
上場証券取引所：	東京証券取引所グロース市場（証券コード：2158）
代表取締役社長：	守本 正宏
設立年月日：	2003年8月8日
資本金：	899,176千円（2025年3月31日時点）
従業員数(連結)：	206人（2025年3月31日時点）
事業内容：	自社開発の特化型AI「KIBIT」の提供を通じた、社会課題と向き合う各分野の専門家の判断支援 (AIソリューション事業 <ライフサイエンスAI分野・ビジネスインテリジェンス分野・経済安全保障分野>、リーガルテックAI事業)
主要取引先：	民間企業（化学・機械・教育・金融・建設・小売・自動車・商社・情報通信・食品・製薬・電子部品・電力・保険など） 官公庁（法執行機関・各種監視委員会）、国内外法律事務所、医療機関

Global Offices



特化型AI「KIBIT」を基軸とした当社事業の変遷と実績

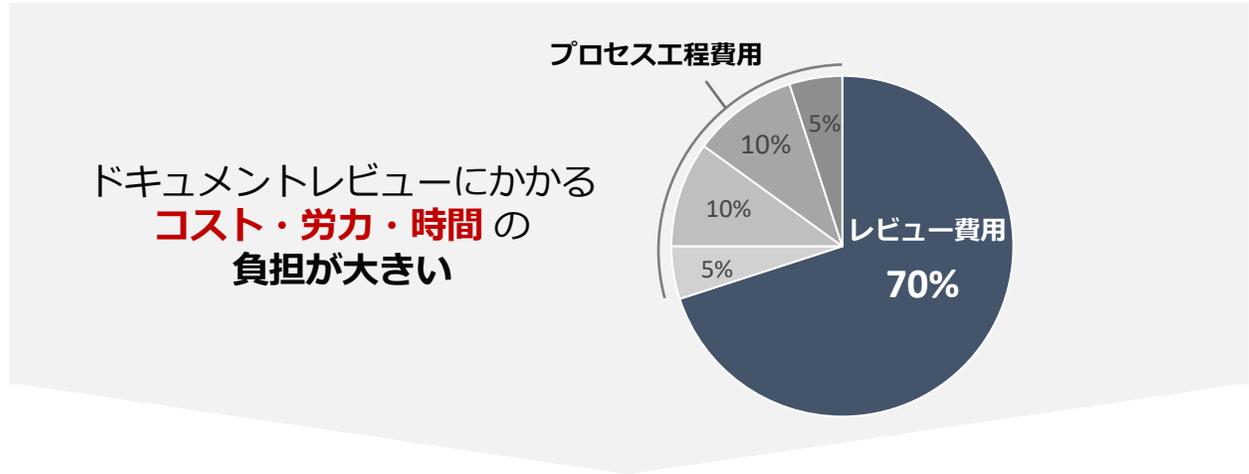
➤ 2012年の「KIBIT」誕生以降、事業領域の拡大及び課題の多様化に合わせた技術進化を継続



※2025年3月31日時点 ※※各製品・サービスの累計導入実績

大量の電子データから訴訟に関連しそうな証拠を発掘する独自技術の開発が前身

普通のメール	不正示唆のメール
今日の夜、どうですか？	今日の夜、どうですか？
送信日時： 2023/07/07(金)15:00 宛先： ○○さん	送信日時： 2023/08/08(火)14:30 宛先： ○○さん
○○さん	○○さん
お疲れ様です。○○です。	お世話になってます。●●の○○です。
今日の夜、ご予約ありますか？ 久々に飲みにも行けないかと思いま して。 駅前の居酒屋に8時くらいはどうす か？	最近はいかがですか？ もし良ければ、今日にでも飲みに行きま せんか？ 前回から時間も経っていますし、またお 話できればと思います。 いい個室の居酒屋を見つけたので、そ にしましょう。 △△さんも誘ったほうがいいですかね。



AIによるレビューの自動化

自社開発の特化型AI「KIBIT」の提供を通じて、日夜社会課題と向き合う各分野の専門家を科学的に支援

社会課題

訴訟 不正 コンプライアンス 経済安全保障 技能伝承 病気 事故

解決の努力

専門家

弁護士 犯罪捜査官 特許分析員 創薬研究者 医師 看護師・介護士



自然言語による判断
(会話、文書、論文)

専門家自らが
理解する仮説生成

判断支援



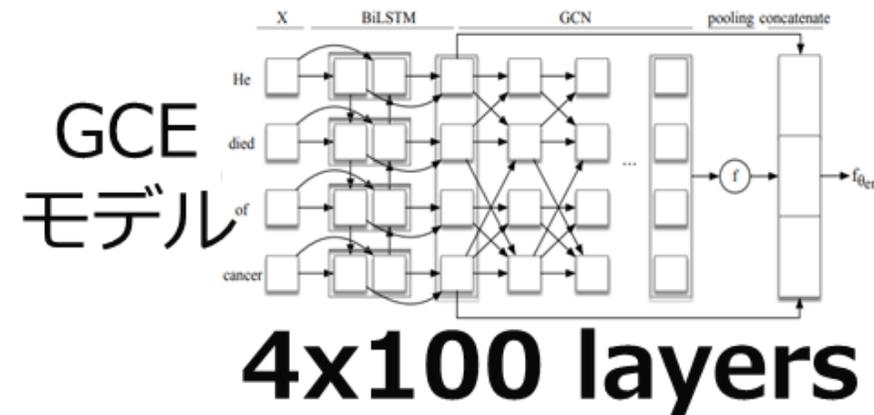
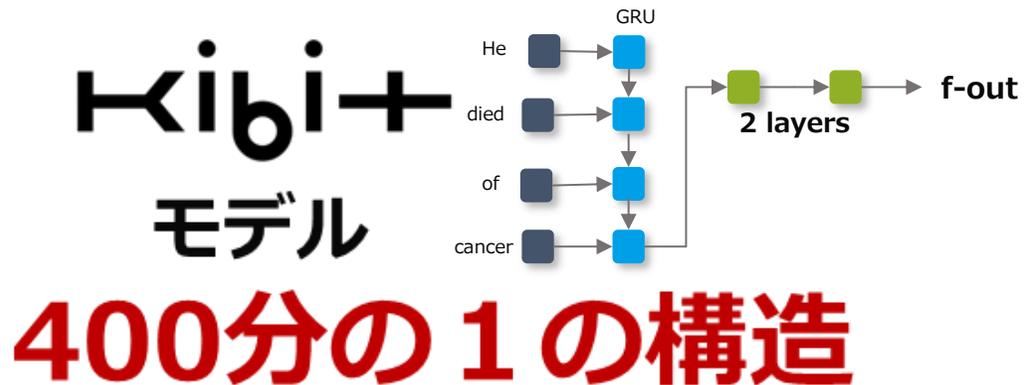
豊富な社会実装経験

マップ化する技術 (特許取得済み)



「KIBIT」の特徴

- 自然言語処理、ネットワーク解析に利用可能な軽量・高速・高性能な独自開発AI
- 省電力で環境負荷の小さいGreen microAI
- 少量の教師データでも性能を発揮する独自アルゴリズム搭載
- 判断根拠を直感的にビジュアライズ
- 世界で**85件**の有効特許登録(2025年3月31日時点)



※1 Energy and Policy Considerations for Deep Learning in NLP, College of Information and Computer Sciences University of Massachusetts Amherst (Jun 2019) から抜粋

※2 日本のCO2排出量及び日本の人口からFRONTEO作成 ※3 ※1の論文と同様の計算方法により、FRONTEO作成

設計思想の違い

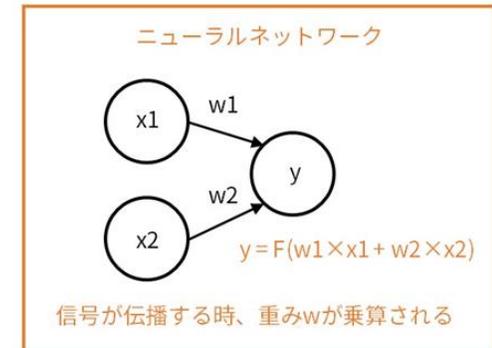
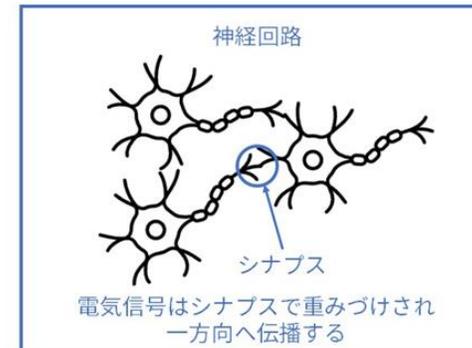
Kibi+

- ・ 人間の子供が新しい言葉を学ぶ過程
- ・ 人が思考を発展させる過程



人の学び、思考過程を創造する

一般的なAI

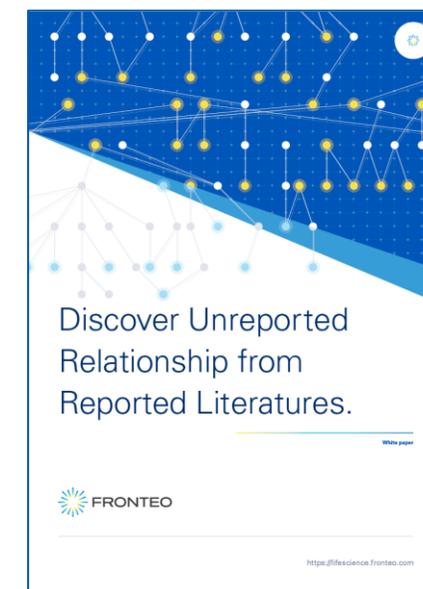


脳(神経ネットワーク)を創造する

- 既知の文献情報から未知の関連性を発見する独自技術を活用した標的探索やドラッグリポジショニング等を支援するAI創薬支援サービス「Drug Discovery AI Factory(DDAIF)」を推進
- KIBITが2022年までのシュプリンガーネイチャー掲載文献から予測した未知の創薬標的について、2024年の新しい文献で疾患と遺伝子の関連性が明らかになる



ホワイトペーパー



URL : <https://lifescience.fronteoa.com/whitepaper1>

大手企業を中心に導入

金融機関



製造業



製薬企業



サービス業



大学・研究機関



(一部掲載、順不同)
※2025年3月31日時点

- 01 会社概要
- 02 **事業内容**
- 03 ステージ4（中期計画） FY28のイメージ
- 04 2025年3月期 決算ハイライト
- 05 2026年3月期業績予想

AI創薬とAI医療機器 2 領域で事業展開

AI創薬

- 「Drug Discovery AI Factory」による仮説生成に特化した創薬支援事業



AI医療機器

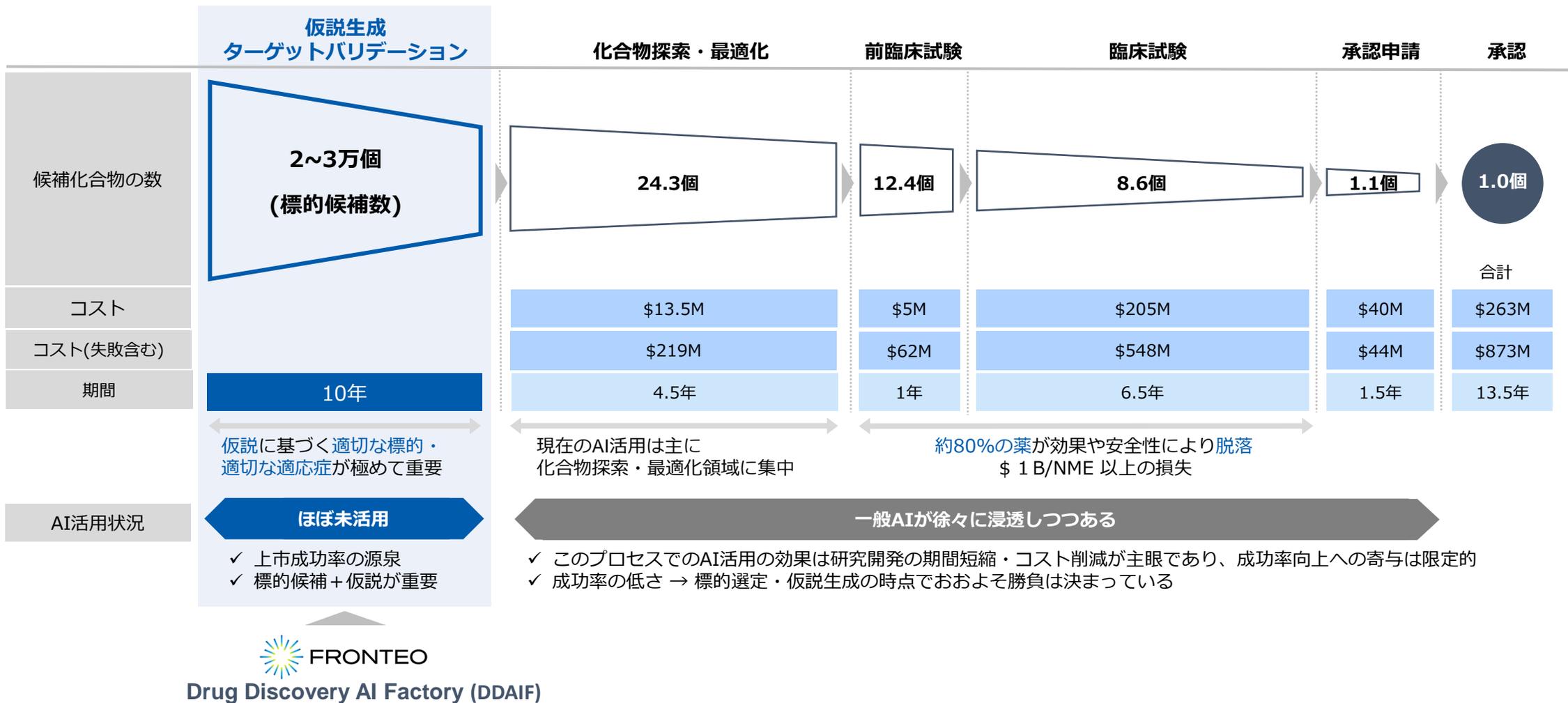
- 医療機器プログラムⅡに該当するプログラムを提供
※保険収載を想定

【開発中の製品】

- 会話型 認知症診断支援 AIプログラム
- 統合失調症診断支援 AIプログラム
- うつ病診断支援 AIプログラム
- ADHD診断支援 AIプログラム



➤ 創薬研究初期の探索研究領域でAI創薬支援サービス Drug Discovery AI Factory (DDAIF) を提供し、医薬品開発の成功率向上に貢献



AI創薬 : Drug Discovery AI Factory (DDAIF) 沿革

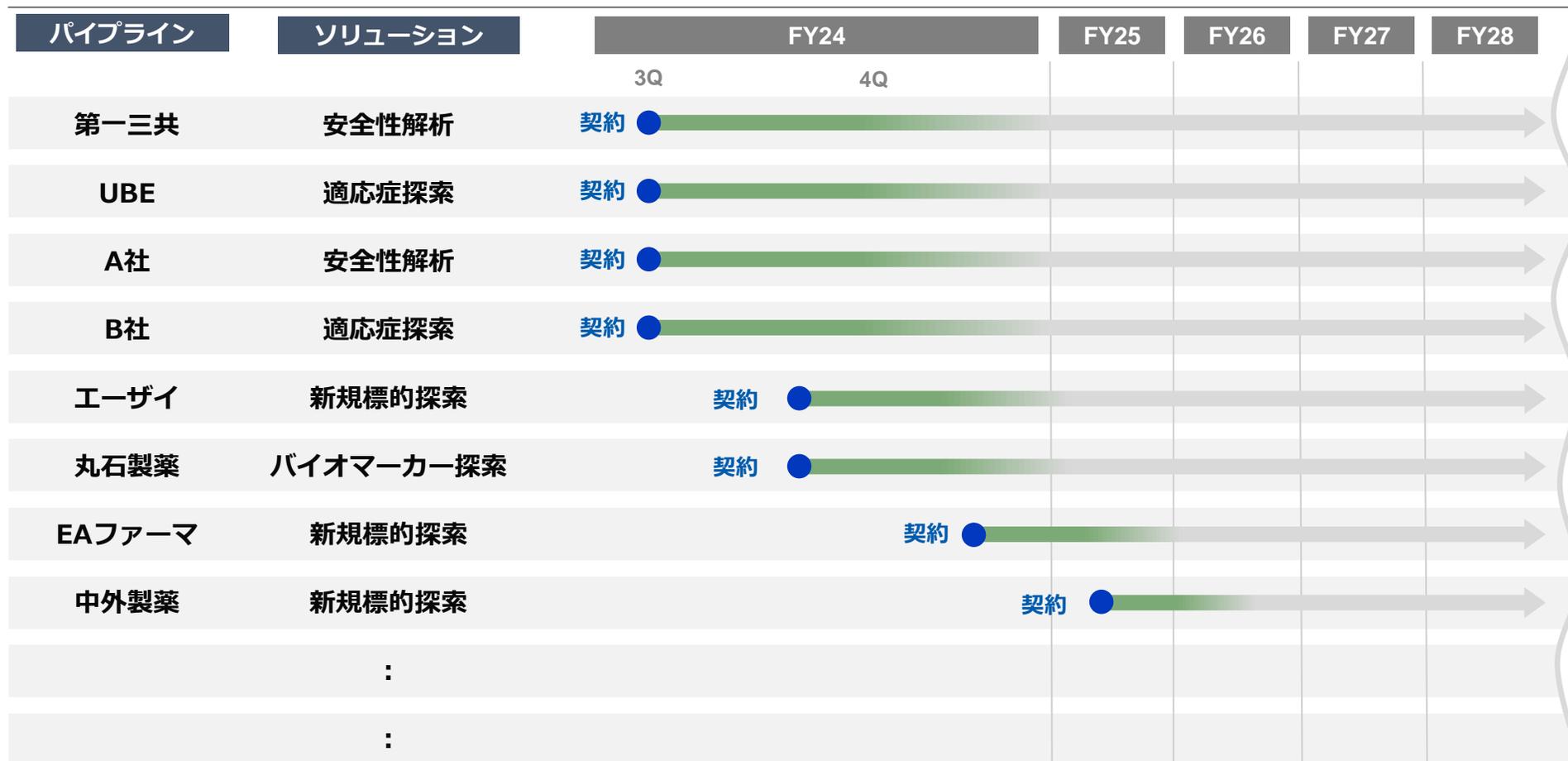
- 2023年7月のDDAIF開始以来、特許に裏付けられた技術がPOCでその実績を認められ、製薬企業との共創プロジェクトへ発展
- FY25は、DDAIFを核とした「FRONTEO共創型創薬エコシステム」を開始し、多様な共創パートナーとの革新的医薬品の創出を目指す



※公開可能PJのみ記載

- 3Q以降より共創プロジェクトの提供を開始し、KPI*3件を大幅に上回る形で進行中（7件成約済み）
- 足元では、複数の製薬企業との契約に向けて交渉中

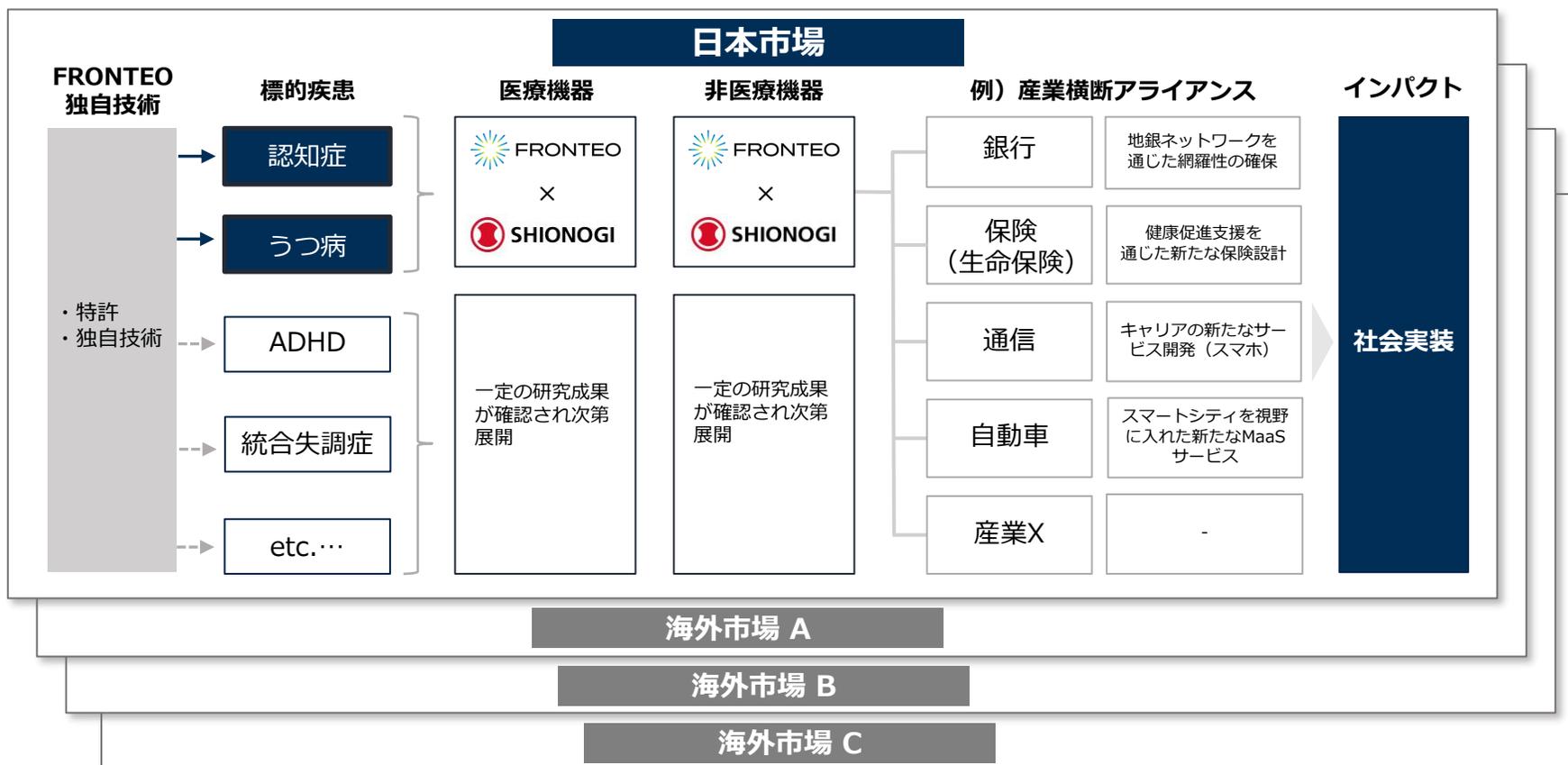
アライアンスのパイプライン



* AIソリューション事業 ライフサイエンスAI分野のAI創薬領域のステージ4達成に向けてのKPI

会話型 認知症・うつ病診断支援AIプログラムの提供

- AI医療機器において、塩野義製薬との共同開発「会話型 認知機能検査用AIプログラム医療機器（SDS-881）」は、厚生労働省より「プログラム医療機器に係る優先審査対象品目」の指定を受け、PMDA*に治験届の提出が完了。2026年度の承認取得へ向けて順調に進捗
- 他疾患を対象としたアライアンス及び非医療機器の産業横断アライアンス協議が進行中



* 独立行政法人医薬品医療機器総合機構

自然言語処理AI x 専門領域における事業展開

コンプライアンス監査領域

コンプライアンス部



コンプライアンスリスク検知AI

技能伝承/プロフェッショナル領域

工場・建設現場



技能伝承AI
危険予知AI

営業部



営業チャンス発見AI

コールセンター



苦情分類・要望抽出AI

コンプライアンス監査領域における弊社ソリューション導入率

メガバンクグループ導入率 100%

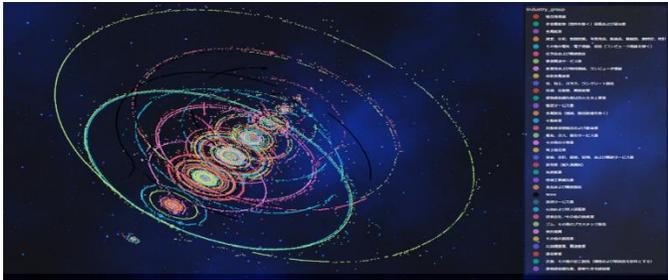


大手5社証券会社導入率80%

経済安全保障分野における経営判断を支えるAIの3つの機能

Kibi+ Seizu Analysis

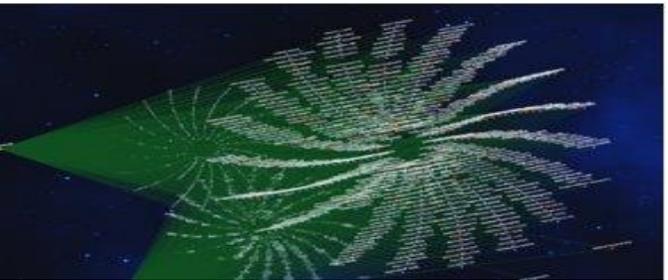
サプライチェーン
ネットワーク



株主支配ネットワーク



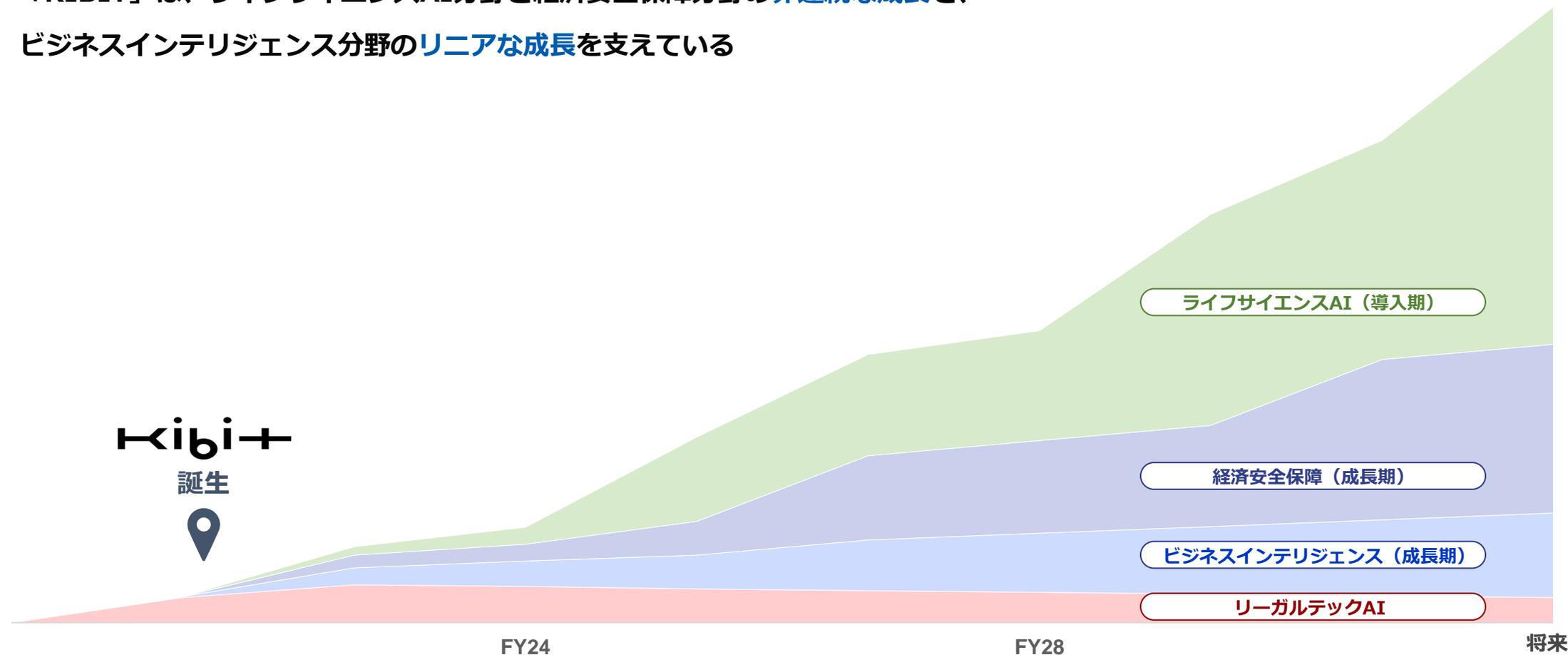
技術者ネットワーク



- 01 会社概要
- 02 事業内容
- 03 **ステージ4（中期計画） FY28のイメージ**
- 04 2025年3月期 決算ハイライト
- 05 2026年3月期業績予想

KIBITを起点とする主力事業の転換

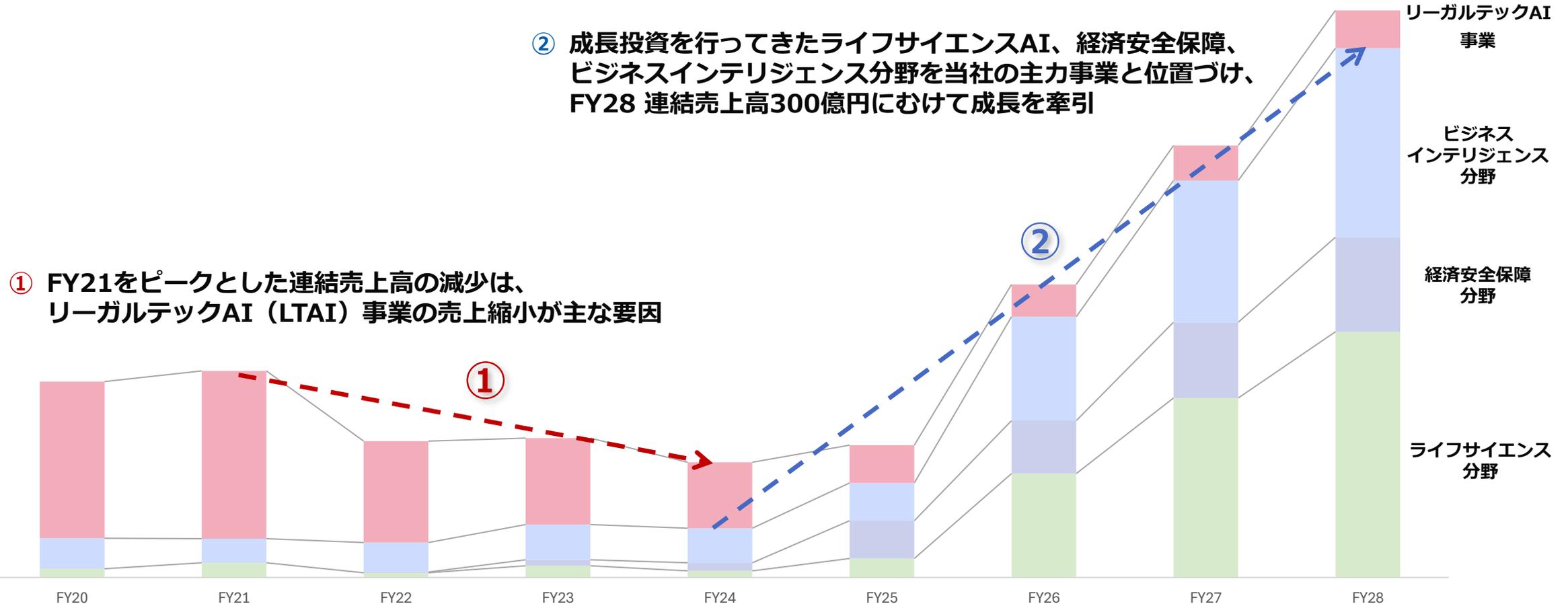
- ライフサイエンスAI、経済安全保障、ビジネスインテリジェンスを当社の主力事業として位置付け
- リーガルテックAI事業のeディスカバリにおける大量の電子データから証拠を発掘する独自技術が前身となり「KIBIT」が誕生
- 「KIBIT」が搭載されたAIアプリケーションを、**各事業に展開**
- 「KIBIT」は、ライフサイエンスAI分野と経済安全保障分野の**非連続な成長**を、
ビジネスインテリジェンス分野の**リニアな成長**を支えている



ステージ4 * (中期計画) FY28の売上高・営業利益イメージ

ライフサイエンスAI、経済安全保障、ビジネスインテリジェンスをステージ4*の主力事業と位置づけ、分野別の成長種別(リニア/非連続)とその成長因子を明確にし、経営資源の選択と集中を徹底

■ ライフサイエンス分野 ■ 経済安全保障分野 ■ ビジネスインテリジェンス分野 ■ リーガルテックAI



*ステージ4：成長可能性資料参照

- 01 会社概要
- 02 事業内容
- 03 ステージ4（中期計画） FY28のイメージ
- 04 2025年3月期 決算ハイライト**
- 05 2026年3月期業績予想

2025年3月期 通期決算ハイライト

- FY24の会計期間内において、2度の連結営業利益の上方修正を行い、前期の営業赤字から+712百万円の大幅増益を実現し527百万円で着地
- AIソリューション事業がリーガルテックAI事業のセグメント利益を上回り、順調に事業転換が進行
- 成長分野であるAIソリューション事業（特にライフサイエンスAI分野）への投資を継続

全体	AIソリューション事業	リーガルテックAI事業
連結売上高 6,099百万円 (前年同期比：▲17.3%)	売上高 2,607百万円 (前年同期比：▲6.8%)	売上高 3,491百万円 (前年同期比：▲23.7%)
* 売上高は前期特殊要因 ⁽¹⁾ を除くと前年同期比+26%成長		
連結営業利益 527百万円 (前年同期比：+712百万円)	営業利益 277百万円 (前年同期比：+71.2%)	営業利益 249百万円 (前年同期比：+597百万円)

(1) ビジネスインテリジェンス分野 大型案件ライセンス買取による収益、及びライフサイエンスAI分野AI医療機器契約一時金の一部を計上

- 01 会社概要
- 02 事業内容
- 03 ステージ4（中期計画） FY28のイメージ
- 04 2025年3月期 決算ハイライト
- 05 2026年3月期業績予想**

- 2025年4月30日株式会社アルネット（以下、アルネット）の株式を100%取得し完全子会社化
- 国内製造業では次世代基幹システムへの移行コストの増大が課題となっており、アルネットは Siemens社が提供する「Mendix」※を活用したソリューションで、コスト抑制はもとよりシステムの最適化を実現
- 当社の製造業向けソリューション「匠KIBIT零」との連携で付加価値を創出し、製造業向けDXソリューションの提供領域を拡大予定



ALNETZ

ソリューション提供領域、製造業向け顧客リスト（カニバリゼーションなし）、
エンジニアのスキルマッピングにおいて強い補完関係

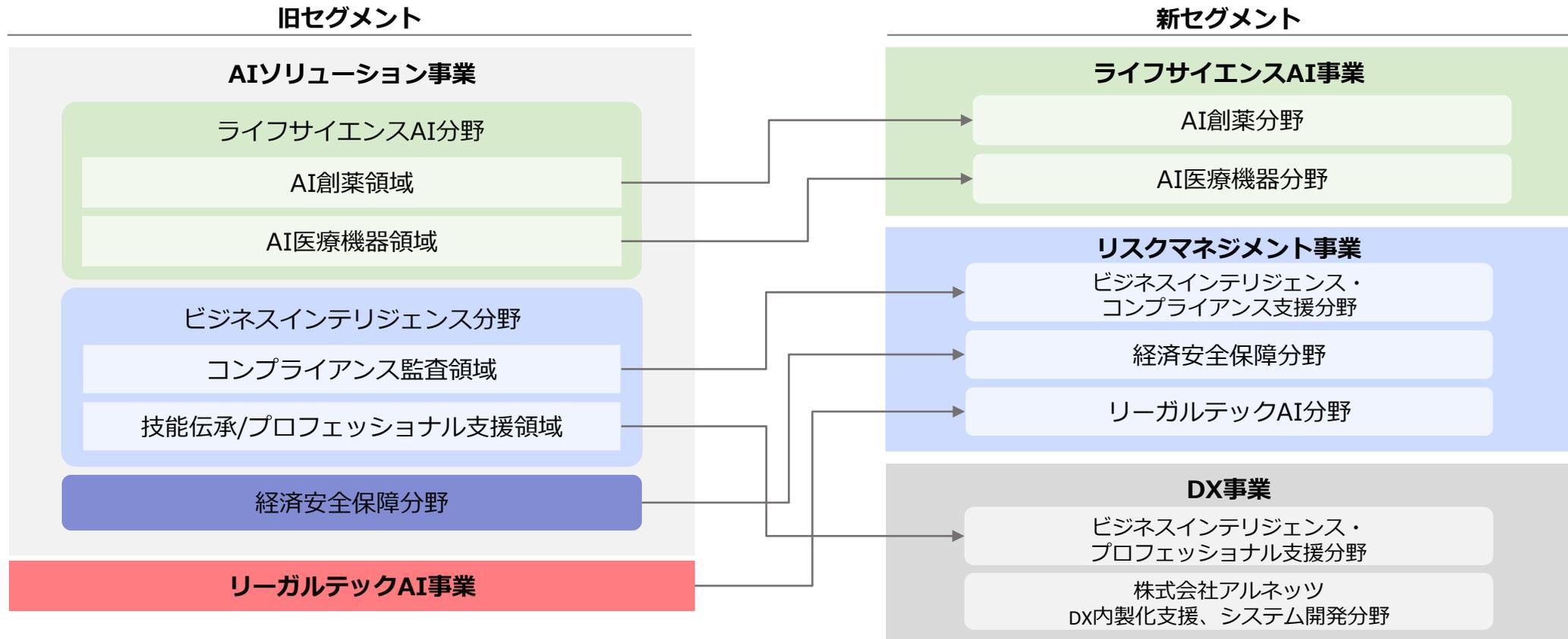
主なシナジー

- 当社が有する「匠KIBIT零」を中心としたデータからの価値抽出技術と、アルネットが有する「Mendix」を中心としたシステムおよびデータ管理のモダナイゼーション技術の組み合わせにより、製造業を中心とした包括的なDX課題の解決、並びに販路拡大を加速
- エンジニアおよび保有技術の融合による、エンジニアリングケイパビリティの拡大、個々のエンジニアのバリューアップを通じた提供価値の向上

* Mendix : PLM/ERP等のシステムとの連携を含む大規模Web/モバイルアプリケーションの構築、および継続的な改善を可能とする高生産性ローコードプラットフォーム

セグメント変更について

- 2026年3月期（FY25）より、従来のAIソリューション事業とリーガルテックAI事業の旧セグメントから、新たにライフサイエンスAI事業、リスクマネジメント事業、DX事業の3つのセグメントへ再編
- リスクマネジメント事業は、各サービス/ソリューション間の連携を強化し、クライアントが直面する「平時」・「有事」におけるリスクに総合的に対応できる体制を構築
- 製造業向けDXソリューションを提供する、プロフェッショナル支援、アルネッツ（FY25 5月から子会社化）を一体運営し、DX事業の基盤構築とシナジー創出を図る



- FY25の連結売上高は、アルネッツの買収効果も折り込み、二桁成長を見込む ※M&Aによるシナジーは業績予想に含めず
- ライフサイエンスAI事業は、AI創薬分野の共創プロジェクトのさらなる積上げを軸に非連続成長を見込み、中長期的な事業拡大に向けて政府が推進するエコシステムの構築を開始
- リスクマネジメント事業においては、FY24で撤退した米国子会社のリーガルテックAI分野の減少分を、ビジネスインテリジェンス・コンプライアンス支援分野と経済安全保障分野のリニア成長で補完
- ライフサイエンスAI事業とリスクマネジメント事業の成長に向けたケイパビリティ拡充を目的とした採用を加速させる結果、一時的に1Qの利益率が低下することが見込まれる。2Q以降の売上拡大に伴い利益率が改善し、通期営業利益は10%に設定

(百万円)	FY24	FY25 業績予想	前期比
売上高	6,099	7,000	+14.8%
(ライフサイエンスAI事業)	354	700	+97.4%
(リスクマネジメント事業)	5,374	4,200	▲21.8%
(DX事業)	370	2,100	+466.7%
営業利益	527	700	+32.7%
営業利益率	8.6%	10.0%	
(ライフサイエンスAI事業)	▲231	▲210	-
営業利益率	-	-	
(リスクマネジメント事業)	659	790	+19.8%
営業利益率	12.3%	18.8%	
(DX事業)	99	120	+20.1%
営業利益率	27.0%	5.7%	
経常利益	543	715	+31.5%
当期純利益	555	615	+10.8%

ライフサイエンスAI事業		
AI創薬分野	<ul style="list-style-type: none"> 先行投資の継続、共創プロジェクトのさらなる積み上げ。エコシステムの構築による、創薬期間の短縮と成功確率の向上を目指す 	非連続成長
AI医療機器分野	<ul style="list-style-type: none"> 会話型 認知機能検査用AIプログラムの認証獲得、産業横断アライアンスによる非医療機器プログラムの販売開始 	非連続成長
リスクマネジメント事業		
ビジネスインテリジェンス・コンプライアンス支援分野	<ul style="list-style-type: none"> 「KIBIT Eye」を基幹サービスとした、リカーリング率向上 既存顧客との取引深耕を軸としたアカウント毎の取引拡大・早期案件獲得に注力 	リニア成長
経済安全保障分野	<ul style="list-style-type: none"> 民間企業・官公庁への訴求を継続 コンサルティングサービスの拡充 	リニア成長
リーガルテックAI分野	<ul style="list-style-type: none"> 顧客基盤の構築・強化は継続（FLLP・勉強会・ウェビナー） 収益相関作用が高い組織/オペレーションを維持 	堅実な事業運営
DX事業		
ビジネスインテリジェンス・プロフェッショナル支援分野	<ul style="list-style-type: none"> BIプロフェッショナル支援分野とアルネッツの一体運営によるDX事業の基盤確立と早期シナジー実現を目指す 	リニア成長
株式会社アルネッツ・DX内製化支援、システム開発分野		



お問い合わせ先 株式会社FRONTEO
email: ir_info@fronteo.com

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。業界等における記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させて頂くものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。